

公益社団法人日本地震工学会 第 71 回理事会議事録

A.日時： 2024 年 8 月 1 日（木） 16 時 00 分～19 時 30 分

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）高田毅士、（副会長）中村いずみ（欠席）、年縄 巧、大堀道広
（担当理事）高橋郁夫、本多 剛、前川 晃、渡邊和明、隈本邦彦、上田 遼、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、中嶋唯貴、丸山喜久、高瀬裕也、上田恭平（欠席）、吉見雅行

（監事）永野正行、室野剛隆（欠席）

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長

※下線はオンラインでの出席者

※渡邊理事の「邊」の字は一点しんのように読み替えてください

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 1) 第 70 回理事会議事録（案）確認（本多理事） | 資料 71-01 |
| 2) 会務報告（高橋理事） | 資料 71-02 |
| 3) 会計報告（前川理事） | 資料 71-03 |
| 4) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 71-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田(遼)理事） | 資料 71-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事） | 資料 71-06 |
| 7) 国際委員会からの報告（阿部理事） | 資料 71-07 |
| 8) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事） | 資料 71-08 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（向井理事） | 資料 71-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事） | 資料 71-10 |
| 11) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事） | 資料 71-11 |
| 12) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長） | （欠番）資料 71-12 |
| 13) 志賀原子力発電所における強震データの頒布状況について（高橋理事） | 資料 71-13 |

議案

- | | |
|---|----------|
| 第 1 号 入退会者（本多理事） | 資料 71-14 |
| 第 2 号 日本原子力学会廃炉シンポジウムの ANFURD の共催について（高田会長） | 資料 71-22 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（本多理事） | 資料 71-15 |
| 第 4 号 選挙規定の見直しについて（年縄副会長・役員候補推薦委員長） | 資料 71-21 |

懇談事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 大崎順彦賞の規程、募集等について（高橋理事） | 資料 71-16 |
| 2) 日本地震学会との会長懇談（9/30）の議題について（高橋理事） | 資料 71-17 |
| 3) 事務局の業務や待遇の改善について（本多理事） | 資料 71-18 |
| 4) JEES の引継ぎ状況と 17JEES の委員長・幹事長について（総務・事務局） | 資料 71-19 |
| 5) JAEE のイベントの記録写真・録画の依頼（本多理事） | 資料 71-20 |
| 6) 18WCCE 参加報告速報（各国地震工学会会長夕食会）（高田会長） | 資料 71-23 |

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 70 回理事会議事録（案）の確認（本多理事）
 - ・本多理事より、資料 71-01 に基づいて、第 70 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 会務報告（高橋理事）
 - ・高橋理事より、資料 71-02 に基づいて、前回理事会以降の会務報告がなされた。
- 3) 会計報告（前川理事）※前川理事の会議入室が遅れたため議案第 4 号の後に報告された。
 - ・前川理事より、資料 71-03 に基づいて令和 6 年度予算の執行状況実績率の説明がなされ、北陸電力の強震データの収入と支出（CD-ROM 作成費）の状況、総務部会の 7 月度の支出に関して修正事項（令和 5 年度の Zooms 使用料）が生じること、が報告された。
 - ・大崎順彦賞に関わる今年度の支出の説明がなされ、仮払金として処理し次年度に精算（大崎総合研究所から入金）となることが確認された。
 - ・当会のメインバンクである三菱UFJ銀行の振込手数料が大幅に値上がりしたため（2023 年 10 月）、住信 SBI の口座新設と資金移動（初回 480 万円）の説明がなされ、今回の資金移動の件について承認された。
- 4) 広報部会からの報告（隈本理事）
 - ・隈本理事より、資料 71-04 に基づいて、広報部会からの活動報告がなされた。日本地震工学会誌 No52 の記者クラブへの配布と、「1964 年新潟地震直後に撮影された写真に基づく液状化被害の状況」（2014 年初版）について TV 局から提供依頼があったことから、使用時のクレジット等の注意事項を付けて学会 Web で高解像度データを公開することが説明された。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（上田(遼)理事）
 - ・上田遼理事より、資料 71-05 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動（メールニュース、ニュースレター）について報告がなされた。
 - ・メール HTML 化に関して外部サービスとして blastmail（ブラストメール）を採用することが提案され、承認された。
 - ・上田(遼)理事から 10 月運用開始を目標として上田(遼)理事自身が導入・設定・実証等を事務局にて行い、事務局員に対してサービスの運用方法について説明していくことになった。なお会員システムにメールサポーター（無料会員：将来構想委員会案）を見込んで設定されていた「メル友」は、システム会社に確認し、使用にあたっては有償でのシステム改修再開発が必要であり、すぐには使用できないことが判明したとの説明がなされた。
 - ・高田会長より、将来構想委員会で提案されたメールサポーター（前述）の導入に関して blastmail 上の問題がないかどうかの質問がなされ、上田(遼)理事より問題ないとの回答がなされた。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）
 - ・皆川理事より、資料 71-06 に基づいて、会誌編集委員会の活動予定と日本地震工学会誌第 53 号（2024 年 10 月末発行）について報告がなされた。
 - ・高田会長より、能登半島地震の特集に関連して志賀原発に関する内容が含まれていない理由について質問がなされた。これに対して、皆川理事より、産業施設の被害の有無については現時点で公表が難しいことと、8 月末の原稿締切に対して執筆者の選定ができないことが説明された。
- 7) 国際委員会からの報告（阿部理事）
 - ・阿部理事より、資料 71-07 に基づいて、国際委員会の活動について報告がなされた。
 - ・韓国地震工学会との基本合意書（MOU）の締結に向けて、韓国地震工学会と連絡・調整していくことが確認された。

8) 地震災害対応委員会からの報告（吉見理事）

- ・吉見理事より、資料 71-08 に基づいて、地震災害対応委員会から報告がなされた。
- ・吉見理事より、当会が参画していた「地質地盤情報の活用と法整備を考える会」が一般社団法人「国土デジタル情報研究所地質地盤情報の活用と法整備を考える会」に移行することに伴い、引き続き協力会員となる依頼があったことの説明がなされ、協力会員となることが承認された。

9) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）

- ・向井理事より、資料 71-09 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
- ・向井理事より日本地震工学シンポジウムの特集号が 9 月から発刊されることの説明がなされた。
- ・永野監事より、同特集号への投稿論文が約 160 編あり、発刊完了を当初予定の来年 3 月までとしていたが遅延することが説明された。

10) 事業企画委員会（企画）からの報告（高瀬理事）

- ・高瀬理事より、資料 71-10 に基づいて、事業企画委員会の活動について報告がなされた。
- ・高瀬理事より、震災予防講演会 WG の対応（2 月に実施される震災対策技術展）の進め方について事務局に対して質問がなされ、事務局が WG 主査の宮腰様とのパイプ役となることと、その後の対応は事業企画委員会と事務局が連携して行うことが確認された。
- ・戸田事務局長より、E-Defense 見学会について参加者を募るための周知期間を確保することの要望が出された。これに対して、高瀬理事より、本見学会は受け身の事業であるため当会として日程が決められないことが説明され、防災科学技術研究所の大村様に周知期間を確保できるように事業企画委員会で交渉することが確認された。
- ・高田理事より、若手向け企画の出前講義に関して負担が非常に大きくなっているのではないかと質問がなされた。高瀬理事より、今年度を実施する内容が限界であり、これ以上の要望がなされた場合は対応できないことの説明がなされた。
- ・渡邊理事より、来年で阪神淡路大震災から 30 年になること関連して記念講演会を実施するかどうかの質問がなされた。高瀬理事より、来年実施する DX 講習会の特別講演会で対応するといった案が提案された。高田会長より、当会が主催となって阪神淡路大震災 30 周年の特別講演会・記念事業を実施したいと要望がなされ、事業企画委員会と会長・副会長、吉見理事とで事業企画を行うことが確認された。

11) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事）

- ・中嶋理事より、資料 71-11 に基づいて、2024 年度大会の準備状況について報告がなされた。
- ・中嶋理事より、企業展示については 5 社以上の出店があれば開催できることと、懇親会については投稿時にアンケートを実施して学生会員も参加できるよう検討することが説明された。

12) 将来構想委員会からの報告（大堀副会長）

- ・大堀副会長より、将来構想委員会の活動内容について報告事項がないことが説明された。
- ・大堀副会長より、将来構想委員会からの提言内容を実装するために各部会・各委員会で実施していくことの協力が要請された。

13) 志賀原子力発電所における強震データの頒布状況について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 71-13 に基づいて、強震データの頒布についての結果報告がなされた。
- ・高橋理事より、海外への販売は 8 月末に開始することの説明がなされた。
- ・高橋理事より、強震動データを購入した機関から受託研究業務に使いたいことの問い合わせがあったことの説明がなされた。強震動データの提供元である電力会社に確認することを前提として、当会として受託研究業務として利用することに問題ないことが確認された。

議案

第1号 入退会者（本多理事）

- ・本多理事より、資料 71-14-1～4 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。
- ・高田会長より、会員数の増加を図るため学生会員の会費を無償にすることが提案なされ、次回理事会を目標に会員部会で本提案のプラスとマイナス面の精査およびルール作りを検討することになった。

第2号 日本原子力学会廃炉シンポジウムの ANFURD の共催について（高田会長）

- ・高田会長より、資料 71-22 に基づいて、日本原子力学会廃炉シンポジウムの ANFURD の共催について説明がなされ、承認された。

第3号 共催・後援・協賛等（本多理事）

- ・本多理事より、資料 71-15 に示された後援 1 件、協賛 2 件について説明がなされ、承認された。

第4号 選挙規定の見直しについて（年縄副会長・役員候補推薦委員長）

- ・年縄副会長より、資料 71-21 に基づいて公益社団法人日本地震工学会 選挙規定第 8 条の 2 の改定の提案（役員選挙推薦委員会は、会長候補者の選挙については 1 名以上、監事候補者の選挙については 2 名以上の数の候補者を選考）がなされ、承認された。

懇談事項

1) 大崎順彦賞の規程、募集等について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 71-16-1～3 に基づいて、表彰規定と応募書類の内容について説明がなされた。
- ・高橋理事より、表彰規定第 7 条および大崎順彦賞細則第 3 条の内容についての審議が提案なされ、「個々の狭い分野に捉われることなく、」の表現を削除することで承認された。
- ・高橋理事より、大崎順彦賞の応募書類について(a) 推薦書と研究開発概要書、(b)推薦書のみのどちらかにするかの提案がなされ、(a) 推薦書と研究開発概要書で進めることが確認された。
- ・高橋理事より、懸案事項（受賞対象者の資格、同じ研究グループからの複数の応募、推薦者人数、共同研究者の承認、副賞）に関して説明がなされた。推薦書と研究開発概要書の書式等については大崎順彦賞選考委員会で公募の案内を出す前に審議することとなった。

2) 日本地震学会との会長懇談（9/30）の議題について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 71-17 に基づいて、第 12 回会長懇談会の議題案がなされた。
- ・高田会長より、昨年は両学会の活動内容の報告に時間が割かれたとの説明があった。
- ・大堀副会長より、会員数確保の方策について共有したい旨が示された。
- ・議題に関しては、後日、関係者で相談して決め、事前に日本地震学会に提案することとなった。

3) 事務局の業務や待遇の改善について（本多理事）

- ・本多理事より、資料 71-18 に基づいて、事務局の業務量 10%削減の方針とその方策の説明がなされた。業務量 10%削減の方策に関しては、各担当理事に協力していただくことで承認された。
- ・本多理事より、給与待遇面の低下を回避するために残業時間 10 時間を超えた場合には残業代を支払うことの提案と残業代算定の根拠の説明がなされ、承認された。
- ・渡邊理事より、残業時間 10 時間までの残業代の支払わないことに関して法令に違反していないかの質問がなされ、高橋理事より、このような給与体系の事例があることの紹介がなされた。

4) JEES の引継ぎ状況と 17JEES の委員長・幹事長について（総務・事務局）

- ・高橋理事より、資料 71-19 に基づいて、第 17 回日本地震工学シンポジウム（2026 年開催）の準備状況の説明がなされ、土木学会（委員長・幹事長推薦当番学会）に委員長と幹事長の推薦を依頼し、委員長に庄司学先生（筑波大学教授）、幹事長に後藤浩之先生（京都大学教授）の就任が承

認された。

5) JAEE のイベントの記録写真・録画の依頼（本多理事）

・本多理事より、資料 71-20 に基づいて、JAEE のイベントの記録写真・録画の依頼の協力の説明がなされた。

6) 18WCEE 参加報告速報（各国地震工学会会長夕食会）（高田会長）

・高田会長より、資料 71-23 に基づいて、18WCEE 参加報告がなされた。

・高田会長より、参加者が 4200 人の達し過去最大の大会であったこと、一方日本人の参加者が少なかったことが紹介された。また、各国の地震工学会長の懇親会は将来のネットワークを作っていくために有意義なものだったと説明がなされた。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

次回予定：（第 72 回理事会）：10 月 17 日（木）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行

監事 室野 剛 隆